

## オーストラリア金融政策(2018年12月)

～金融政策方針は2018年を通じて不変～

2018年12月4日

### お伝えしたいポイント

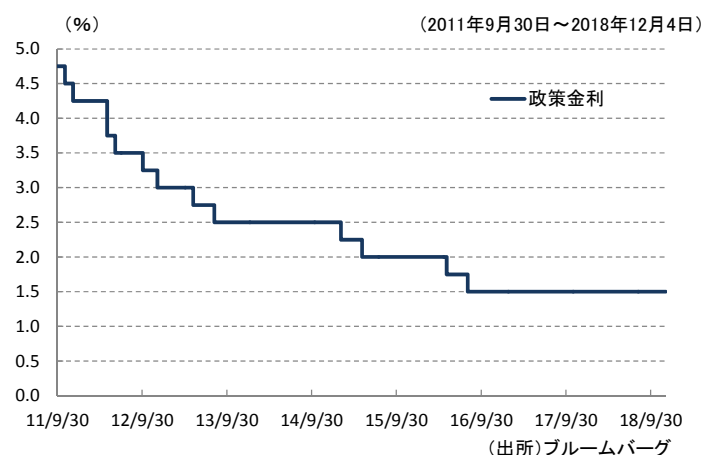
- RBAは政策金利を1.5%に据え置き
- 基調的なインフレ率は2%を下回って推移
- 国債金利は安定、豪ドルは外部要因の影響を大きく受ける

### <RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

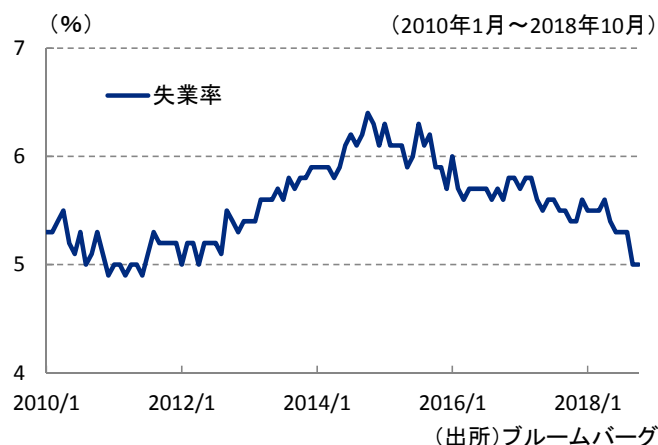
2018年12月4日(現地)、RBA(オーストラリア準備銀行)は市場予想通り、政策金利を1.5%に据え置くことを決定しました。RBAは2016年8月の利下げを最後に、2年超にわたって政策金利を据え置いています。声明文の金融政策方針を記した最終段落は、今年に入ってから一言一句同じです。具体的には、低金利が豪州経済を下支えていること、緩やかながらも、失業率が低下し、インフレ率は目標値である2~3%へ回帰すると見込まれること、現行の金融政策姿勢を維持することが持続的な経済成長ならびにインフレ目標の達成と整合的であることを記しています。

前月からの声明文の変化として、貿易摩擦を一因とする世界貿易の鈍化の兆候と最近の商品市況の下落に言及しています。一方、国内では賃金の伸びが幾分高まっていることを好感する記述が加わりました。実際、オーストラリア経済は堅調に推移しています。RBAは11月に公表した四半期の金融政策報告書で、鉱業部門以外の設備投資、公共投資、資源輸出が寄与するとの想定で、2018、2019年の経済成長率の見通しを、いずれも8月時点の3.25%から3.5%へ引き上げました。最近の商品市況の下落も、原油主導であり、オーストラリアの主要輸出品から成るRBA商品価格指数は月次単位で大きく下落しているわけではなく、オーストラリアの交易条件の悪化をもたらすものではありません。

### 《政策金利の推移》



### 《失業率の推移》



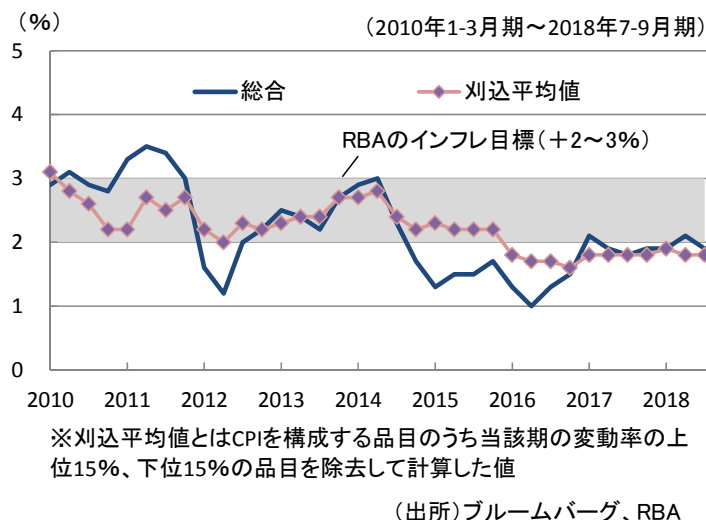
※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <基調的なインフレ率は2%を下回って推移>

雇用情勢は堅調です。雇用者数は過去 12 カ月の平均でひと月あたり約2.5万人増加しており、しかも大半はフルタイム雇用の増加です。失業率は約 6 年振りの低水準となる 5.0%へ低下しており、労働需給のひっ迫を受けて、賃金上昇圧力も高まりつつあります。

しかし、その程度ははまだ緩やかで、RBA が政策目標としている消費者物価への波及はみられません。実際、2018 年 7-9 月期の消費者物価指数(CPI)は総合で前年同期比 1.9%、基調的なインフレ率として RBA が重視している刈込平均値で前年同期比 1.8%の上昇にとどまりました。特に後者は 2016 年 1-3 月期以降、2%を下回って推移しています。

## 《消費者物価指数の推移》



## <国債金利は安定、豪ドルは外部要因の影響を大きく受ける>

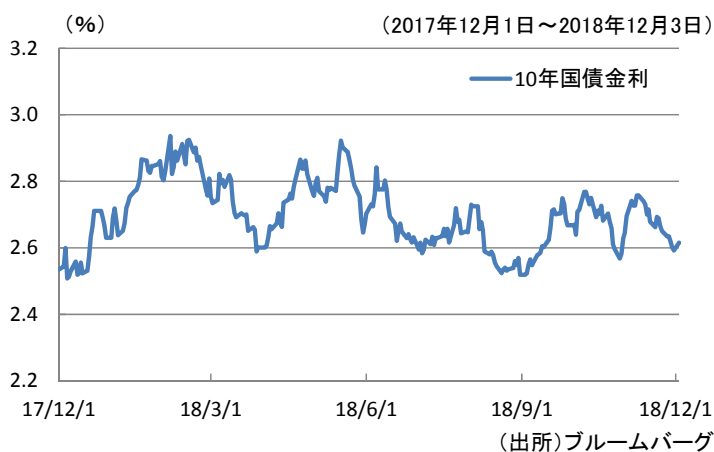
オーストラリア経済は堅調に推移していますが、差し迫ったインフレ懸念はなく、一方で世界経済に減速感がうかがえるなか、RBA が利上げを急ぐ必要はないと考えられます。市場の金利見通しも落ち着いたままで、当面は利上げも利下げも見込まれていません。従って、債券金利は引き続き狭いレンジで推移する可能性が高いと考えます。10 年国債金利は年初来のレンジである 2%台後半で当面推移しそうです。

こうした環境下、豪ドルは米国の金融政策、中国経済、市場のリスクセンチメントなど、外部要因に左右されやすい展開が続くと考えます。米国の金融政策については、利上げの織り込みがこの 1 カ月で後退しました。今月の追加利上げこそほぼ確実ですが、2019 年については、市場は現時点で利上げを 1 回程度しか織り込んでいません。やがて米国の利上げ打ち止めが意識され始めると、米ドル安豪ドル高への転機となりそうです。

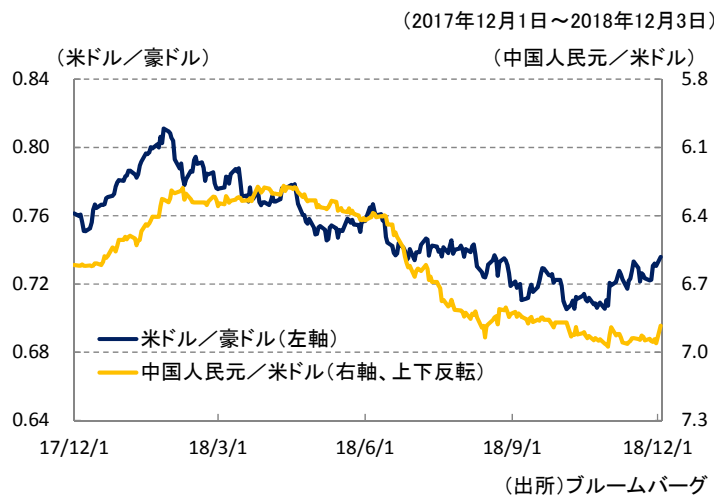
オーストラリアにとって最大の貿易相手国である中国の景気動向がオーストラリア経済、ひいては豪ドルに及ぼす影響は大きく、実際、最近の豪ドルは中国人民元の推移と高い相関があります。米国の通商政策の転換や、中国の金融・財政政策による景気浮揚などが中国経済や市場のリスクセンチメントの改善をもたらせば、豪ドルの反発が期待できます。

以上

## 《国債金利の推移》



## 《中国人民元と豪ドルの推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <ご参考> 当社の関連リサーチ

### ◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策(2018年11月)～インフレ率の弱含みで政策金利は当面据え置き。豪ドルは外部環境次第～(2018/11/6)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20181106\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20181106_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年10月)～政策金利は据え置き。4-6月期のGDPは堅調で景気拡大が続く～(2018/10/2)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20181002\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20181002_2.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年9月)～インフレ率が低迷を続ける中で、政策金利の据え置きが続く～(2018/9/4)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180904\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180904_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年8月)～インフレ率が低迷を続ける中で、政策金利の据え置きが続く～(2018/8/7)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180807\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180807_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年7月)～政策金利は据え置き。オーストラリア経済は堅調さを維持～(2018/7/3)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180703\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180703_2.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年6月)～政策金利は据え置き。財政黒字化の達成時期は1年前倒しに～(2018/6/5)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180605\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180605_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年5月)～政策金利は据え置き。企業の景況感は改善が進む～(2018/5/1)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180501\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180501_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年4月)～政策金利は据え置き。オーストラリアは景気拡大の世界最長記録をさらに更新～(2018/4/3)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180403\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180403_1.html)
- ・ニュージーランド出張報告(2018年3月)～新政権への注目が集まるニュージーランドの「今」～(2018/3/28)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180328\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180328_1.html)
- ・オーストラリア出張報告(2018年3月)～インフラ投資に沸くオーストラリア経済の「今」～(2018/3/20)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180320\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180320_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年3月)～労働市場は改善も政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/3/6)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180306\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180306_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2018年2月)～CPI上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/2/6)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180206\\_3.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180206_3.html)
- ・オーストラリア金融政策(2017年12月)～政策金利は据え置き。RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善を待つ～(2017/12/6)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171206\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171206_1.html)
- ・オーストラリア金融政策(2017年11月)～政策金利は据え置き。インフレ率の低迷から当面の政策金利は据え置きを見込む～(2017/11/7)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20171107\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171107_1.html)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>